

# 集会アピール (案)

本日、われわれハイタクフォーラムに結集する全ての仲間は、2017春闘勝利とライドシェア合法化の絶対阻止に向けた決意を新たにした。

ライドシェアに対し政府は、成長戦略の一つとして「シェアリング・エコノミー」の推進を掲げ、合法化への動きを加速させている。しかし、ライドシェアには、運行管理や車両管理の体制がないばかりか、運転者は請負で雇用契約すらもない。安全管理も労働条件の保障もないまま旅客輸送が行われれば、利用者保護の観点からも「無責任」と言わざるを得ない。安全破壊・雇用破壊をもたらすライドシェアの合法化を絶対に許してはならない。

改正「タクシー適正化・活性化特別措置法」は3年目を迎えた。全国147の特定地域・準特定地域では、供給過剰の是正と運賃の適正化、利用者利便の向上と活性化に向けた取り組みを進めている。訪日旅行者が2000万人を超え、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を控える中、われわれは世界に誇れる安全な日本のタクシーを守り、適正化・活性化をはかっていく。そこにライドシェアは不要だ。

また、ライドシェアは、高齢化と過疎化に苦しむ地方自治体を足がかりに参入を狙っている。しかし、「交通政策基本法」の制定と「地域公共交通活性化・再生法」の改正により、地方自治体を中心に、交通事業者や利用者と協働で、まちづくりと一体となった持続可能な地域公共交通の実現に向けて努力している。こうした状況に対し、ライドシェアを合法化することは、地域の努力を無にするものであり、「交通政策基本法」や「地域公共交通活性化・再生法」の立法の精神とも矛盾するものである。

ハイタク労働者の労働環境は、輸送人員と運送収入の減少が続く中、低賃金が解消されていない。このため職場は、要員不足が深刻となり、運転者の高齢化が一層進んでいる。しかし、われわれは日夜、輸送の安全・安心を第一に、運行している。その懸命な努力に見合う賃金・労働条件を実現し、若い世代に魅力ある産業としなければハイタク産業に未来はない。

われわれは本決起集会を契機に、ハイタク労働者の努力に見合う賃金・労働条件を実現するため、タクシー事業の適正化と活性化、ライドシェア合法化の阻止に全力で取り組む。さらに2017春闘勝利に向け、最後の最後まで全力でたたかい抜く。

2017年3月7日

「2017春闘勝利！ 白タク合法化阻止、交通の安全・安心を守るための大集会」